

<b>中国経済論</b> Chinese Economy ≪2015年度以前入学生は、アジア・ビジネス研究分野探求科目≫		(教員名) <羽瀨 貴司>	
アジア・ビジネス研究分野 中核科目	講義科目	選択	
	1単位	2018年度・後期	
<b>I 科目の主題</b> 改革・開放以降の中国は、30年以上にわたり年平均10%近い高成長を続けてきた。中国経済の成長要因は何だろうか。また、「世界の工場」から「世界の市場」、そして「世界の研究開発センター」へと変貌しつつある中国は、どのような問題を抱え、どこまで成長できるだろうか。本講義の目的は、中国経済の成長要因を明らかにし、経済成長の諸側面を分析することにある。			
<b>II 授業の到達目標</b> 本講義では、改革・開放以降の中国の経済発展のプロセスを概観し、経済成長の要因を市場経済化と経済のグローバル化の二つの側面から考察する。また、市場経済化と経済のグローバル化のなかで、中国企業及び外資企業の発展過程と課題についても検討する。			
<b>III 授業内容・授業計画</b> I 改革開放政策と経済発展 第1回 改革・開放政策 第2回 中国の計画経済の特徴 第3回 中国の経済発展と産業構造 II 労働市場 第4回 90年代前半までの労働市場 第5回 国有企業からの大量解雇 第6回 大学卒業生の労働市場 III 中国経済の対外開放 第7回 貿易と外資企業の発展 第8回 中国企業の海外進出 第9回 外資企業の対中戦略 IV 中国経済と外資企業 第10回 パナソニックの対中戦略 第11回 研究開発センターとしての中国 第12回 地方政府と外資誘致 第13回 外資主導の発展構造と問題点 V 中国経済の課題 第14回 中国経済とブランド戦略 第15回 中国の環境問題			
<b>IV 事前・事後の学習内容</b> 事前・事後の学習として、中国経済関連の資料や論文を読み、中国経済が世界経済に与える影響について考えてください。			
<b>V 評価方法</b> 期末試験・レポート (50点) と平常点 (50点) で評価する。			
<b>VI 受講生へのコメント</b> 世界最大の人口、世界最大の市場に成長しつつある中国経済とそれが世界に与える影響について常に興味を持ってください。			
<b>VII 教材</b> 教科書は指定しない。毎回レジュメを配る予定である。 参考書や参考文献は講義時にその都度指示する。			